

2026 7
No.308



GP

全グラ情報

JAPAN



AIが見据える軟包装業界の未来予測

北陸グラビア協同組合
理事長 織田 憲三



早いもので本年度も7月、半年が経過しました。当社としては、昨年度より第7期中長期ビジョン「ウェルビーイング」「DX デジタル化」「SDGs」等、コンサルタントを交え、指導を受けながら3カ年計画を作成、社内の現状課題、集約整備、改革改善策をまとめ、早期実現に向けて行動に着手しています。

その中、2月28日、アメリカはイランに対して軍事攻撃を開始、早期の終結と思いきや4カ月も続き、いつ終わるとも分からない泥沼状態が続いています。我々グラビア印刷業界も大変な混乱に陥っています。

この国難の中、6月1日にはソフトバンクGの時価総額が49兆円とトヨタを上回り、国内トップをとり、22年ぶりに首位が入れ替わりました。この動きは、投資マネーが時代を先取りし、AI（人工知能）やIT（情報技術）を軸とした新たな経済への移行が本格化しつつあることを示していると考えます。これを機に、DX時代に求められる思考法をAIから引き出し、一部を連記しました。参考にしていただければ幸いです。

追記Ⅰ

AI、ITは10年後にどこまで進歩するのか気になります。人間の持っている「知性」「思いやり、慈愛、調和、優しさ」など「感情」「道徳」まで支配するのでしょうか。人間ロボットが出てきておりますが、グラビア業界の未来を考えた時、人間中心の社会、日本はどうなるか気になります。

追記Ⅱ

今回記載されていませんが、グラビア印刷業界のAI・ITにはその他データとして多数あります。

1. 魅力ある会社のビジョン 会社の条件
2. アート思考の包装資材での現状市場と将来
3. 営業のアート思考導入について
4. 包装から価値へ
アート思考で会社を進化させる
5. 包装資材業の環境分析、業界動向の予測等

グラビア印刷の市場性と DX 化

グラビア印刷は「縮小産業」ではなく、「構造転換が進む産業」であり、DX を前提にした企業だけが安定成長できる市場です。

市場性→構造課題→DX の役割→経営判断の結論の順

①グラビア印刷の市場性（現実的評価）

市場規模の考え方

- ・出版・商業印刷：縮小
- ・包装用グラビア印刷：横ばい

成長を支える要因

- ・食品・日用品需要は不況耐性が高い
- ・レトルト・冷凍・EC 向け包材の増加
- ・高意匠・高機能（バリア性・耐熱性）

⇒量は伸びないが、品質と機能で単価は維持できる市場

市場の二極化

勝ち組	苦戦組
大ロット・高稼働・DX 対応	小ロット・価格競争
技術+提案力	単なる受注生産
環境・機能対応	汎用品依存

②グラビア印刷業の構造課題

1. 設備集約・高固定費

- ・印刷機 1 台数億円
- ・稼働率 80%以下で利益が出にくい

2. 原材料価格変動

- ・フィルム・インキ・溶剤
- ・価格転嫁できない企業は淘汰

3. 人材依存・技能継承

- ・熟練オペレーター依存
- ・若手定着が難しい

⇒これらは DX なしでは解決不可

スマートパッケージ構想とは

「包装（印刷物）」を“入れ物”ではなく“情報と価値を生むメディア”に進化させる考え方です。

グラビア印刷業・包装印刷業にとっては、価格競争から抜け出すための“最上位の差別化戦略”にあたります。

一言で言うと、

スマートパッケージ＝印刷×データ×デジタル連携による付加価値創出

◎従来パッケージとの違い

項目	従来	スマートパッケージ
役割	包む	伝える・つなぐ
情報	静的（印刷のみ）	動的（更新可能）
価値	コスト要素	マーケティング資産
印刷会社	下請	価値共創パートナー

◎経営的メリット（印刷会社側）

項目	効果
単価	+10 ～ 30%
継続受注	長期化
価格競争	回避
顧客関係	戦略パートナー化

◎スマートパッケージの構成要素

◎段階的な進め方（現実解）

Step 1 QR 連携（すぐ可能）

◎グラビア印刷業が担う役割

＜従来＞×「印刷だけ」

- ・ QR 設計の提案
- ・ 表示情報設計
- ・ 包装×情報の最適化

◎なぜ今、重要か

社会背景

- ・ 環境規制強化
- ・ 消費者の情報欲求拡大
- ・ メーカーの DX 遅れ

＜これから＞○「パッケージ価値設計＋実装」

⇒印刷会社が“仕組み提供者”になる

メーカー側の本音「印刷会社がここまでやってくれるなら助かる」

アート思考の考え方

市場のニーズに合わせるのではなく、自分たちが新しい価値を定義する。

アート思考の包装とは

『機能として包む』のではなく、体験・価値・ストーリーをデザインする包装です。

包装資材+グラフィア印刷会社の場合、「アート思考のパッケージ会社」会社モデル
包装資材会社→パッケージデザイン会社→商品価値創造会社～会社モデル～

①アート思考パッケージ会社とは

＜従来の包装会社＞商品→包装

＜アート思考包装会社＞商品コンセプト→ブランド→パッケージ→販売

商品価値の中心にパッケージを置く会社

②包装会社にアート思考を入れると

＜従来＞包装資材会社→＜アート思考＞**商品価値会社になります。**

（例）袋を売る→売れるパッケージを作る

③実は包装業界はアート思考に向いている

＜理由＞パッケージはデザイン・ブランド・機能・環境、すべてに関係する

④収益構造

＜従来＞

収益	内容
印刷	低利益
資材	低利益

＜アート思考＞利益率が一気に上がる

収益	内容
商品開発	高利益
ブランド設計	高利益
パッケージ	中利益
印刷	安定

(一社) 印刷技能人材機構 令和 8 年度総会を開催

報告者：全国グラビア協同組合連合会事務局 戸部初雄

(一社) 印刷技能人材機構は、2026 年 6 月 23 日（火）午後 4 時より、日本印刷会館 5 階会議室にて令和 8 年度総会を開催しました。

事務局の生井義三様の司会で開会が宣言されました。続いて臼田真人会長が挨拶した後、臼田会長が議長に選任され、令和 7 年度事業報告、決算報告、余剰金処分案、定款変更承認、令和 8 年度事業計画案、収支予算案などの議案を審議し、全ての議案が満場一致で可決されました。

本総会には、経済産業省から文化創造産業課・荻野室長、製造産業局戦略企画室・荒川室長、(一社) 日本印刷産業連合会の高島専務理事が来賓として臨席されました。総会終了後には、場所を移し懇親会が催され、本機構の理事・監事が親交を深めました。



GP JAPAN

全グラ情報

2026 年 7 月号 No.308 全国グラビア協同組合連合会

今月の表紙



6月11日に札幌グランドホテルにおいて開催された全国グラビア協同組合連合会第56回通常総会懇親会の様子。詳細は8頁参照

CONTENTS

巻頭言 AIが見据える軟包装業界の未来予測 ①

北陸グラビア協同組合 理事長 織田憲三

業界 Information

(一社) 印刷技能人材機構：令和8年度総会を開催 ⑤

報告者：全国グラビア協同組合連合会事務局 戸部初雄

全グラ

全国グラビア協同組合連合会 第56回通常総会：原価計算・設備更新徹底で関連業界とともに活性化、包材価格への正しい理解を訴求 ⑧

組合員・単組の近況

東海グラビア印刷協同組合：令和8年第56期定期総会懇親会を開催 ⑮

関西グラビア協同組合：第56期通常総会開催報告 ⑳

関東プラスチック印刷協同組合：62年の活動の歴史に幕、解散セレモニー開催 ... ㉕

Gravure

品質判定ガイドラインについて ㉘

酒は永遠の友 vol.18 田口 薫 ㉓

Data Watch 2026年3月データ 32

紙・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷 2026年4月... 38

GP 認定制度申請についてのお願い 42

GP 工場認定制度無料説明会のご案内 44

展示会レポート

グラビア印刷・軟包装業界における新たなビジネス機会 24
 報告者：全国グラビア協同組合連合会事務局 戸部初雄

Information

グラビア研究会、7月22日に第12回グラビア基礎講座をオンライン開催 27
 サカティンクス、パッケージ向け材料メーカーとして国内初のDFC対応設備を導入
 45

GPJAPANは全国グラビア協同組合連合会が発行する機関誌です。年間購読料は送料込みで15,000円＋税です。

購読および広告出稿を希望される方は、
全国グラビア協同組合連合会まで。
 e-mail: zenkoku-grv@jgpi.or.jp



発行：2026年7月10日
 発行人：田口 薫（全国グラビア協同組合連合会会長）
 発行所：全国グラビア協同組合連合会
 〒130-0002 東京都墨田区業平1-21-9
 あさひ墨田ビル
 TEL.03-3623-4046、FAX.03-3622-1814
 編集スタッフ：下田幸二（全国グラビア協同組合連合会専務理事）、
 戸部初雄（全国グラビア協同組合連合会）、
 酒井由香（同）
 編集協力：(株)加工技術研究会
 印刷：(株)DI Palette

© 全国グラビア協同組合連合会 2026

落丁・乱丁はお取り替えます。GPJAPANの無断複写・複製・転写・転機は、著作権法で認められているケースを除き、禁止されています。また、磁気・光磁気媒体等への記録することは禁止します。

全国グラビア協同組合連合会 第 56 回通常総会

原価計算・設備更新徹底で関連業界とともに活性化 包材価格への正しい理解を訴求

全国グラビア協同組合連合会は、2026 年 6 月 11 日（木）午後 4 時より、札幌グランドホテル 3 階「玉葉」において第 56 回通常総会を開催した。総会には全グラ理事をはじめ北海道グラビア協組組合員や賛助会員等を含め 52 名が、その後の懇親会には 73 名もの参加があった。

第 56 回通常総会



田口 薫会長

はじめに、田口 薫会長から次のような挨拶があった。「中東情勢が風雲急を告げる中、政府はナフサや石油の備蓄を確保し、経済産業省も現場の目詰まりを解消すべく対応にあたっているものの、現場ではつなぎテープの不足を理由に端尺出荷や構成変更をお願いする動きも見られます。こうした状況のさなか、パッケージのモノクロ化や色数削減といった動きも出てきて、我々のところに『あれはどういうことですか』と各メディアから電話がかかってくる。包材の価格が高価だと思われるのではないのでしょうか。誰も商品売価のうち、わずか数%

が包材価格だとは思っていないのです。厳しいコスト環境の中で安価に製品を提供してきた現場に対し、まだ削減を求めるのかと憤まんやるかたない思いです。白黒デザインが購買意欲に与える影響も考慮し、我々の業界がいかに社会に貢献しているかについて、関係省庁へ誤解のないよう分かっていたいただくことが大事だと思います」。

また、「これだけ原価計算をしようと言っているのに、どんぶり勘定で経営破綻に追い込まれた会社があります。半世紀前のオイルショック時には、組合を通じて得た情報をもとに大幅な価格転嫁を行ったおかげで、トタン張りだった古い工場を近代的で衛生的な設備へと刷新できました。当時、情報を持たずに対応が遅れた企業との差は現在にも影響しています」と話す。

国内生産設備の老朽化は深刻で、設備更新を見据えた価格転嫁の重要性を訴えた。「中国市場では年間 1,000 台規模の機械が製造されているとも聞きます。世界的な大手パッケージ企業である Amcor などは、仕様をパターン化することで効率的な運営を行い、高

い利益率を上げています。日本の大手製紙会社も設備老朽化を理由に定期的な価格改定を行っています。過剰品質は正についてもチームを立ち上げました。上場企業を中心とした技術担当者を交え、明確な基準のない生産体制を改め、基準の策定に向けた協議が始まっています」。価格転嫁の声を上げ、古い設備を更新し、関連業界とともに生き残りを図ろうと呼び掛けた。

続いて、下田幸二専務理事より、7単組 19 名中、本人出席 15 名、委任状 1 名であることが告げられ、今年の総会幹事である北海道グラビア印刷協組の若狭博徳理事長が議長に就任し、議案が審議された。



下田幸二専務理事

2025 年度の事業報告



安永研二副会長

第 1 号議案は「令和 7 年度（2025 年 5 月～ 26 年 4 月）事業報告書及び決算関係書類承認の件」。安永研二副会長より次のような令和 7 年度事業報告がなされた。

令和 7 年度は、米国トランプ大統領によるイラン攻撃、大胆な関税政策や安全保障政策の変更も重なり、世界中が翻弄される 1 年となった。中東情勢の悪化により、原油や石化製品の供給が途絶え、原料価格の暴騰、調達不安が続いている。現時点では、高価であっても原料を確保し、生産を継続させることが喫緊の課題となっている。更には米中対立の激化、台湾有事リ

スクの上昇もあり、世界各地での地政学リスクの高まりから世界の軍事費は過去最高水準を突破している。近年、世界経済はグローバル化の道を辿ってきたが、経済安全保障枠組みの見直しを迫られる 1 年ともなった。AI 革命の加速により、新たな領域への展開も大いに期待される一方、経済の成長と衰退の 2 極化が進む事態となっている。日本では、10 月に憲政史上初となる女性総理大臣・高市早苗内閣が誕生した。矢継ぎ早に打ち出す積極的経済政策により日経平均株価は 6 万円を超える水準が定着し、デフレ時代からの脱却は達成できた。しかしながら、急激なインフレと金利高が庶民の生活を襲い、実質賃金が上がらない中、購買意欲が高まる環境には至っていない。また、TSMC 熊本工場稼働やラピダスへの国家支援等半導体産業の復活政策も目を引いた。地政学リスクが高まる世界で、日本の防衛費も GDP 比 2 % に迫る勢いとなり、削減オーバーツーリズムが社会問題化する中での観光客数過去最高記録を塗り替える等、新たな課題が表面化する 1 年でもあった。多くの産業で人手不足の深刻化が叫ばれ、少子化も過去最悪の水準となっている。グラビア業界の人手不足も深刻化を増しており、一層、女性・高齢者の活用、省人化

への取組、外国人労働者の雇用等が課題となっている。更に、地政学リスクの高まりと1ドル＝150～160円で推移する為替相場の中で、原材料価格は終わりの見えない高騰が続いている。中東情勢の展開次第ではあるが、当面は原料調達不安と終わりの見えない価格高騰を覚悟しなければならない。製造コストに注目すれば、原料価格の暴騰のみならず、電力・ガス等のエネルギーコスト、物流費、人件費などの上昇も重なり、コ

ストは右肩上がり続いている。原料メーカーの設備老朽化に伴う製品ラインアップ縮小、事業撤退等も連鎖し、ますます原料調達が厳しい環境となってきた。グラビア業界の明るい将来像は見通しにくい。多くの来場者が訪れ成功裡に終了した大阪万博やメダルラッシュに沸いたミラノ・コルティナオリンピックは、遙か遠い昔の出来事のようにもある。

原料調達困難、急激なインフレに向かう潮流の中で、依然として適正価格への是正を見送り、商品によっては価格引き下げを実施している大手流通・小売り事業者も見受けられる。仕入先からの適正価格是正要請を頑強に抵抗しながら、低価格のPB商品を拡充させている。そのため、食品メーカーを主要得意先とする当組合員の適正価格への是正交渉も難航する場合があります。2026年1月施行されたいわゆる“取適法”をうまく活用しながら、我々中小コンバーターの利益向上を図り、従業員の賃金アップ、老朽設備の更新へと繋げなければ、中小コンバーターの道は開けない。日本印刷産業連合会と連携し、適正価格への是正活動を推進していきたい。

また、印刷産業の中では比較的安定していると言われてきた軟包装グラビア印刷においても、海洋プラスチック問題から派生したプラスチックは「悪」のイメージが多くのメディアから発信され、間違った認識が一般社会に広まり続けている。それゆえ社会に不可欠な軟包材の供給責任を担う当組合としては、こうした状況を業界存続の危機と捉え、「軟包装価値向上委員会」を発足、関係者の熱意により『軟包装のキャッチコピー』が誕生した。【目立ってしましますが、実力もすごいのです】とのキャッチコピーを旗印に、社会インフラ

出席理事
田口 薫会長（関東グラビア協組：大日本パッケージ㈱）
安永研二副会長（同：東包印刷㈱）
若狭博徳副会長（北海道グラビア印刷協組：㈱北海サンコー）
杉山真一郎副会長（東海グラビア印刷協組：富士特殊紙業㈱）
高桑真樹副会長（関西グラビア協組：㈱ダイドー）
母里圭太郎副会長（九州グラビア協組：㈱平野屋物産）
吉原宗彦理事（関東グラビア協組：東京加工紙㈱）
市村清一理事（埼玉県グラビア協組：㈱ダイトー）
大野寿之理事（北海道グラビア印刷協組：極東高分子㈱）
浮田信也理事（東海グラビア印刷協組：大和産業㈱）
賀谷壮佑理事（北陸グラビア協組：賀谷セロファン㈱）
奥田拓己理事（関西グラビア協組：㈱北四国グラビア印刷）
田中規貴理事（同：淀川加工印刷㈱）
中村政晃理事（九州グラビア協組：㈱三裕商会）
下田幸二専務理事（全グラ）
都築晋平顧問（全グラ）

を担う産業であるとの広報活動を継続した。「ソフトパッケージ（＝軟包装）」という新たなイメージ戦略を推進し、「●入れる●届ける●保つ●伝える」という4つの機能を紹介するコピーを、関係省庁・団体に発信、同時に当組合機関誌『GP JAPAN』に掲載し啓蒙に努めた。更に改訂版 Ver02 にて「●閉じる●届ける●保つ●伝える」として啓発活動を推進している。

製造現場での人手不足解消の一貫として「外国人技能実習制度」の評価試験に注力してきた。出張による試験が中心だが、民間試験施設「岬試験会場」にて『何とか自社の工場稼働を止めずに試験実施が出来ないか？』という組合員の要望にも対応してきた。また、「特定技能」「育成就労」へ対応するために準備を進めている。なお、外国人雇用に関わる制度変更への対応については、日印産連、印刷技能人材機構、JAIM（一般社団法人工業製品製造技能人材機構）等と連携し、情報の共有、組合企業への情報発信、問い合わせ等に対応している。

引き続き、下田専務理事が令和7年度の決算関係報告を行い、欠席の橋本監事に代わり監査報告を行い、承認された。

2026 年度の事業活動



高桑真樹副会長

続いて、第2号議案「令和8年度（2026年5月～27年4月）事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件」に移り、高桑真樹副会長（関西グラビア協組理事長：㈱ダイドー）が令和8年度事業計画（案）の事業方針について説明した。事業活動の骨子は次の通り。

- ①「特定技能制度」・「育成就労制度」の受入れ体制構築と技能実習評価試験実施体制の充実
- ②省エネ、省資源とプラスチック資源循環による地球環境保全への対応
- ③日本印刷産業連合会、関係行政官庁との連携を強化し、経済支援策・適正取引の推進（自主行動計画・徹底プランの改定と推進）
- ④SDGs とカーボンニュートラル社会への貢献
 - 1)「グラビア印刷（軟包装）グリーン基準」に基づく GP 制度の啓蒙と認定取得の奨励・周知活動
 - 2)「規制と自主的取組のベストミックス」による VOC 排出削減へ向けての支援
 - 3) 地球温暖化防止のための CO₂ 排出量削減への取組
 - 4) 省エネ法への対応の取組
 - 5) 環境関連条例等への対応策の検討と規制緩和の推進

6) 海洋プラスチックごみ問題について関連業界・団体・メーカーとの連携により資源循環の情報収集と推進

7) 日本印刷産業連合会が策定する「印刷産業環境ビジョン 2050」の啓蒙と実施

⑤会員・賛助会員の増強

社会インフラを担う業界団体として、地位向上と当組合員ならびに関連業界・団体・メーカーの事業拡大のため、組合加入促進を図る

⑥日本印刷産業連合会への積極的な参加と関連業界団体との連携強化

⑦青年部の育成と拡大

⑧「GP JAPAN」の内容充実と広告獲得、拡販

⑨ホームページの運用と広報活動による情報発信

⑩消防法、有機溶剤中毒予防規則、安衛則改正による化学物質管理、改正大気汚染防止法、改正食品器具及び容器包装など関連法規、働き方改革、民法改正等の周知と遵守の推進

引き続き、下田専務理事が令和8年度収支予算案、並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件について説明し、承認された。その後、若狭議長が第3号議案「令和8年度借入金残高の最高限度決定の件」について諮り、こちらも提案通りの2,000万円で承認された。以上、すべての議案が原案通り承認され、無事閉会した。



全グラ第1回理事会

総会終了後、休憩を挟んで午後5時より同会場にて理事会が開催された。はじめに、下田専務理事より赤澤亮正経済産業大臣への要望書提出について説明があった。田口会長からは「要望書は原材料の円滑な調達をお願いするという趣旨であったが、他にも過剰品質や使えるものは使ってほしいという話をした。我々が長年抱えてきて改められなかったことを改めるきっかけが1つできた。これを半世紀に一度のチャンスと捉えたい」とのコメントがあった。

経済産業省では「石油由来の化学品・製品等の供給に関する情報提供」のフォームに加え、トルエン・キシレンに特化した情報提供フォームも用意している。困りごとや情報があれば活用してほしい。

日印産連関係については、今回の総会・理事会に出席した日印産連環境安全部の戸田清志部長と内藤 清 GP 推進部長兼 GP 認定事務局長より、3月に公表された「印刷産業環



日印産連の
戸田清志環境安全部長



日印産連の
内藤 清 GP 認定事務局長

境ビジョン 2050」と、今年度中に開始予定の「環境アドバイザー派遣制度」について説明があった。

その他、6月29日開催の関東グラビア協同組合のセミナー、7月23日開催の中央労働災害防止協会によるグラビア実務者向け「新しい化学物質管理に関するWEBセミナー」の紹介などが行われた。

懇親会を開催

午後6時半より、会場を同ホテル「GINSEN」に移し、組合員、賛助会員ら73名が参加の下、下田専務理事の司会で懇親会がスタートした。

田口会長は、「オイルショックの時に価格転嫁に取り組んだ結果、価格の改定が受け入れられた。これによりその後の設備買い換えや工場の環境整備への投資へとつながった。我々は生き残って事業を継続しなければならない業種だ。勇気をもって適切な価格転嫁を貫徹しなければならない。今日の会を通じて、多くの意見や情報交換を行い、自社に持ち帰ってほしい」と挨拶。



DIC グラフィックスの
安齊 剛代表取締役社長
執行役員

賛助会員を代表して、DIC グラフィックス(株)の安齊 剛代表取締役社長執行役員が次のような挨拶を行った。

「総会開催地の札幌は私の出身地。地元で全国の皆様とお会いできることを大変楽しみにしております。今日、札幌のコンビニエンスストアで初めて白黒パッケージの『ポテトチップス』を拝見しました。グラビア印刷は豊かな色彩表現によって商品の魅力を伝え、消費者の安心感や購買意欲を支える重要な役割を担っています。とりわけ、食品包装分野では見て分かる安心感や、手に取りたくなる魅力がこれまで以上に求められています。社会環境やコスト環境が厳しさを増す中でも、私たち

は暮らしに彩りを添える、色の価値そのものまで失ってはならないと感じています。これからもインキを通して皆様とともに彩りのある快適な社会をしっかりと支えていくことが、インキメーカーの果たすべき役割であると考えています。更に、食品包装を中心に安全性や機能性への要求はますます高まっていますし、環境対応の観点からも脱溶剤化やリサイクル適性向上など、新たな課題に業界全体で取り組んでおられます。こうした変化は、決して容易ではありませんが、見方を変えれば業界が次のステージに進むための機会でも



の席もぜひご期待いただき、北海道の味覚とともに楽しい札幌のひとときをお過ごしいただければと思います」

広大な北海道、より豊かな業界を目指して



母里圭太郎理事長

乾杯の発声は、九州グラビア協組の母里圭太郎理事長が務めた。

「この大変な時期に、総会・懇親会、明日の準備をしていただきました北海道のグラビアの皆様、全グラ事務局の皆様、本当にありがとうございます。北海道は本当に大きいですね。飛行機が着陸するときの雄大な光景を見ただけで、本当に来て良かったなと思いました。この機会にお集まりいただいた皆様方で大いに語り合い、親睦を深めましょう。お互いを理解することで考え方の方向性も揃い、組合としての大きな力になると思

います。ナフサの問題で苦しみながらも、エッセンシャルなソフトパッケージを供給していく大切なこの業界をこれからも盛り上げていければと思います」と述べ、歓談に入った。

宴たけなわの午後8時頃、7単組の理事長らが登壇。北海道グラビア印刷協組の若狭博徳理事長が次のような中締めの前に、総会と懇親会の開催に向け、何度も打ち合わせを重ねながら準備に携わった北海道グラビア協組のメンバーに感謝の言葉を述べ、会場からも大きな拍手が贈られた。

「『おばんでございます』。これは北海道弁で『こんばんは』という意味です。日本全体で少子高齢化が進んでいますが、北海道は特に人口減少が早く進行しています。北海道の人口は1997年の約570万人をピークに減少へと転じ、昨年500万人を割り込みまし

あると感じています。インキメーカーとして、環境配慮型製品の開発や生産効率向上に資するご提案を通じて、現場の皆様にしかりと寄り添ってまいりたいと思います。せっかくの札幌での開催でございます。若狭理事長をはじめ、関係者の皆様のご準備された懇親



北海道グラビア協組スタッフの皆さん

た。北海道は全国に先駆けて労働人口不足に直面することは間違いありません。昭和の時代、私の父が現役で働いていた頃は、この産業に対して言葉を選ばずに言えば随分と安売りをしているという印象があり、実際にそのような話も耳にしていました。しかし、これからの時代はそれではいけないと感じています。私も北海道の仲間と情報を共有しながら、広大な敷地ではあるけれども、非常に小粒である北海道のこの業界をいかににより豊かなものにするかという岐路に立たされながら、一生懸命取り組んでいます。懇親会終了後に、皆様に手土産をお渡しする予定です。商工会議所の仲間である蔵元が昨年9億円を投じて新設した蔵で造られた一番酒です。ラベルは田口会長の図案で、事務局の近藤麻衣子さん（極東高分子㈱）に許諾を取ってもらった北海道のマークもあしらわれています。さて、中締め挨拶は今年で3年連チャンです。昨年は中締めの5分前に指名を受け、その場にいた関西グラビア協同組合の竹下晋司理事長に協力をお願いしました。「分かった、がんばれ」と応じてくださり、私が挨拶の中で話を振ると、快くおどけて場を盛り上げてくれました。そこから、まさかまさかの3カ月後に逝去されるとは思いもよらず、訃報を聞いたときは大きなショックを受けました。人の命は推し量ることはできないんだなと改めて実感しましたし、すごく悲しい思いをしたと記憶しております。私たちはいつもまっすぐ、一生懸命に仕事へ取り組むために集まっているメンバーです。悲しい思いはございますが、これからさらなる発展を遂げていきたいと考えておりますので、皆様のお力添えを賜わればと思っております」。

最後に、「中締めはこれが生涯最後ではないか」と冗談を交えつつ、三本締めで盛況のうちに幕を閉じた。



オリジナルラベルが貼付された小林酒造の一番酒



若狭博徳北海道グラビア協組理事長

2日目はゴルフと観光へ

総会翌日はゴルフ組32名と観光組21名に分かれて、それぞれ朝5時半と8時45分にホテルを出発。ゴルフ組は「ザ・ノースカントリーゴルフクラブ」へ、観光組は北海道の歴史・絶景・グルメを堪能しました。各地の説明が書かれたしおりをいただきましたので、それをもとに簡単ですが各スポットを紹介します。

最初に向かったのは北海道赤れんが庁舎。国の重要文化財にも指定されている歴史的建

造物で、1888年（明治21年）竣工。250万個のれんがが積み上げられた重厚な作りです。窓まわりや階段などは明灰色の「札幌硬石」が使用されており、今も札幌市南区の硬石山で採掘が続いているそうです。

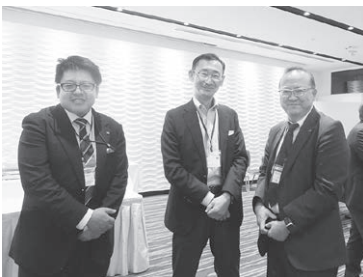
そこから大倉山ジャンプ競技場へ。1972年の冬季オリンピック札幌大会でジャンプ競技が行われた会場で、現在も国際的な大会が開かれているそうです。当日は天気も良く、標高307mの展望台から札幌の街並みを一望できました。上りも下りもリフトが使えますが、遊歩道もあるので体力に自信のある方はぜひチャレンジを。敷地内には札幌オリンピックミュージアムも併設されており、ゲーム感覚でウィンタースポーツの疑似体験もできます。

昼食は全国的にも超有名な「すし善本店」にて、北海道の食材を活かしたお寿司を堪能しました。

最後に向かったのは札幌市の厚別区にある北海道博物館。マンモスやナウマンゾウの復元展示や旧石器時代の出土品、アイヌ文化の歴史など1日楽しめる内容ですが、時間の関係で後ろ髪を引かれながら博物館を後に、新千歳空港から帰路につきました。



懇親会 snapshot



組合員・単組の近況

東海グラビア印刷協同組合

令和8年第56期定期総会懇親会を開催

東海グラビア印刷協同組合（杉山真一郎理事長、富士特殊紙業(株)）は、第56期定期総会懇親会を2026年5月22日（金）、名古屋観光ホテルにおいて開催した。

定期総会

青年部の後藤部長（中京化学(株)）の司会進行により、総会出席社18社、委任状の提出による代理出席6社参加のもと開催された。杉山理事長の議長のもと、令和7年度事業経過報告（浮田信也副理事長、大和産業(株)）、会計報告（森 宗治監事、マルムネグラビア(株)）、会計監査報告（松山元繁監事、丸八製版(株)）、事業計画案（浮田副理事長）、予算案（森監事）が報告され、議題は順調に進行し全ての議案に対し多数決で可決された。



勉強会

クラサスケミカル(株)溶剤チーム3名による「中東情勢最新情報」についての勉強会は、現在の中東情勢の緊迫化により、ナフサ価格の上昇や供給停滞への懸念など、我々の業界が大きな影響を受けている現状について理解を深めた。国際情勢が原料調達や事業活動に直結していることを改めて認識するとともに、今後も市場動向を注視しながら柔軟に対応していく重要性を感じる有意義な機会となった。



勉強会の様子

懇親会



杉山真一郎理事長



東京インキの畑中部長
による中締め

杉山理事長の挨拶で懇親会が幕を開けた。現在の中東情勢の緊迫化に伴い、原料価格の上昇や供給不安が広がる中でも、必要以上に悲観になる必要はないとの話があった。特に「供給がない」という言葉だけが先行すると、市場に大きな不安を与えてしまうため、「ない」のではなく「逼迫している状況」であることを正しく理解することが重要であると説明された。また、日本国内では一定の在庫もあることから、直ちに深刻な供給停止に陥る状況ではなく、少なくとも年内を乗り切る見通しは立っているとの話があった。国としても、過度な買い占め等による混乱を懸念しており、冷静な対応が求められているとのことであった。

その後、杉山理事長による乾杯の音頭が取られ、参加者同士の交流が和やかな雰囲気の中で深められた。

最後は畑中部長（東京インキ㈱）から、インキ等の価格変動はあるものの原料確保はされており、安定供給に向けて対応していると挨拶があり、一本締めで締めくくられた。終始良い雰囲気の中で親睦が深まり、一体感を感じられる有意義なひと時となった。



組合員・単組の近況

関西グラビア協同組合

第 56 期通常総会開催報告

関西グラビア協同組合（高桑真樹理事長、㈱ダイドー）は、2026 年 5 月 22 日（金）午後 6 時より、ヒルトン大阪「真珠の間」において、組合員・賛助会員 72 名の参加のもと、第 56 期通常総会を開催しました。



特別セミナーの講師を務めた共新の宮尾 宏氏

総会に先立ち、午後 5 時から特別セミナーを開催しました。講師には、㈱共新 国際事業部取締役本部長の宮尾 宏氏をお迎えし、「育成就労制度と外国人労働者の状況について」と題してご講演いただきました。本セミナーでは、2027 年 4 月 1 日より施行・運用が開始される「育成就労制度」について、今後の外国人材受入れにおいて極めて重要となる制度の概要および最新動向をご説明いただきました。

午後 6 時からの総会は、事務局の司会進行のもと開催されました。冒頭、高桑理事長より、現在の中東情勢の緊迫化に伴う原材料価格の高騰や資材調達の混乱など、会員各社が厳しい環境に置かれていることに触れられました。そのうえで、「厳しい状況だからこそ、組合が一つとなり、横の連携を密にしながら情報共有を進め、共に対応していくことが重要である」との挨拶がありました。また、これまでも景気変動、大規模災害、コロナ禍など、さまざまな難局を会員企業が乗り越えてきたことに言及し、「それは現場の力であり、経営者の皆さまの踏ん張りによるものである。今まさに、その底力が改めて問われているのではないか」と述べられました。更に、「自社だけでなく業界全体が元気になり、盛り上がった



セミナー・総会会場



総会の様子

ていかなければ明るい未来は開けない。競争は必要だが、その中でも仲間意識を持ち、業界が一体となって横の連携を図ることこそが、関西グラビア協同組合の存在意義であり、あるべき姿である」と締めくくられました。

続いて、司会より、本日の通常総会は本人出席と書面議決書による出席の合計が定足数を満たしている旨が報告され、高桑理事長が議長に選任されて議案審議に入りました。

<決議事項>

第1号議案 令和7年度 事業報告書の承認の件

第2号議案 令和7年度 財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案の承認の件

第3号議案 令和8年度 事業計画案及び同収支予算案の承認の件

第4号議案 令和8年度 経費の賦課及び徴収方法決定の件

第5号議案 役員辞任に伴う補充選任の件

本通常総会では、賦課金および賛助会費の改定案が上程されました。

改定理由としては、物価高騰に伴う経費の増加に加え、特定技能制度に『印刷・製本』区分が追加されたことによる加入企業の構成変化、更に組合員から徴収する賦課金の算定方法と、組合が上位団体へ納める賦課金の算定方法が異なることによって負担構造に歪みが生じ、逆転現象が発生していたことが挙げられます。これらの状況を踏まえ、賦課金体系を見直し、従来の従業員割に加えて、上位団体が採用する均等割およびユニット割を組み合わせた新たな算定方式への改定案が、第4号議案として上程されました。

第1号議案から第5号議案まで、書面による議決権行使を含め、原案どおり可決されました。これをもってすべての審議を終了し、午後6時50分に第56期通常総会を閉会しました。

総会に引き続き、同ホテルの別会場「銀の間」にて懇親会を開催しました。堀川 孟青年部部長（NissiNSeal ㈱）の司会進行のもと、高桑理事長は、厳しい状況が続く中でも業界全体が前を向き、明るく元気にしていくことの大切さを述べ、懇親会を通じて親睦を深め、共に難局を乗り越えていきたいとの意を示されました。



懇親会の司会進行は
堀川 孟青年部部長



高桑真樹理事長

続いて、賛助会員を代表して東洋インキ(株)営業本部関西営業1部部長の星野谷健司氏の乾杯のご発声により宴会が始まりました。宴の途中には、新たに加わった高山産業(株)代表取締役の高山達也氏より入会のご挨拶があり、会場は2時間にわたり賑やかな食事と歓談の輪に包まれました。

最後に役員が登壇し、代表して保田 久理事（ニッコーグラビア印刷(株)）の中締め挨拶の後、一本締めをもって午後8時40分にすべて終了しました。



賛助会員を代表して乾杯の音頭を取った東洋インキの星野谷健司氏



新規加入した高山産業の高山達也氏



中締めの挨拶をする保田 久理事

<令和8年度事業計画>

自 令和8年4月1日 至 令和9年3月31日

本年度は、中東情勢の影響による原材料価格の高騰と供給不安が継続し、先行きが極めて不透明な中での事業運営となります。状況によっては生産体制への影響も懸念され、これまでにない厳しい環境であることを、まず共有しておきたいと思います。

こうした環境下において、組合として「出来ること」と「出来ないこと」を明確にし、実効性のある取り組みに絞って進めてまいります。

1. 原材料調達に関する情報共有の強化と各社対応の高度化

原材料調達については、各社の取引条件や調達ルートが異なるため、組合として一体的に対応することには限界があります。本年度は、市況や需給動向等の情報共有を一層強化し、各社の判断精度を高めるための支援に注力します。

2. 価格転嫁の推進と収益確保への取り組み

原材料価格の上昇が続く中、従来通りの価格では事業の継続が困難となる局面に入っています。各社においては、取引先の理解を得ながら価格の見直しを進め、適正な収益を確保する取り組みを一層強化する必要があります。組合としても、業界の実情発信等を通じて環境整備に努めます。

3. 非常時を想定した事業継続体制の整備

不測の事態に備えた事業継続計画（BCP）の重要性は、これまで以上に高まっています。各社においては、原材料、エネルギー、物流等の制約が生じた場合を想定し、現実的な対

応策の検討と見直しを進めていただきたいと考えます。

4. 現場力の強化と生産性向上

厳しい環境下では、日々の積み重ねがそのまま経営結果に直結します。品質の安定、生産効率の向上、ロスの削減など、基本の徹底を改めて見直し、現場力の底上げを図ることが重要です。人材育成も継続的に取り組むべき課題です。

5. 組合活動の充実と情報発信

組合は、各社の経営判断に資する情報と機会を提供する場としての役割を担っています。会員相互の情報交換を活性化し、業界全体としての課題認識の共有を進めるとともに、外部への情報発信にも取り組みます。

今年は決して楽な一年にはなりません。しかし、このような時だからこそ、各社の判断と行動の差が明確に表れます。組合として取り組むべきことは確実に実行しつつ、最終的に会社を守るのは各社の判断です。厳しい状況だからこそ、ここで踏ん張れるかどうか問われます。本年度も、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<基本方針>

1. 環境問題への取り組み

- ① VOC 排出抑制自主行動計画推進策及び処理装置の紹介
- ② グリーンプリンティング認定工場の取得推進及び支援事業
- ③ 脱炭素、再生可能エネルギーの普及など環境対策情報収集・セミナーの開催

2. 広報活動の取り組み

- ① 業界情報誌「GP JAPAN」の提供
- ② 組合の広報活動として HP の充実及びメールマガジンを通しての速やかな情報発信の確立
- ③ 青年部会員連携のため SNS の活用

3. 教育情報事業の取り組み

- ① 2027 年 4 月より始まる「育成就労制度」に関するセミナーの開催
- ② 第 20 回グラビア技術研修会の開催（青年部を主体とした勉強会を年 1 回開催する）
- ③ 経営者及び後継者を主とした第 20 回経営セミナーの開催

4. 親睦活動の取り組み

- ① 福利厚生事業（総会、年末情報交換会、新年賀詞交歓会、親睦会等）の開催

5. 共同事業の取り組み

- ① 共同購入事業（PL、火災共済等各種保険、副資材）の検討及び推進
- ② 外国人特定技能制度の窓口
- ③ 新制度外国人育成就労制度への対応

懇親会 snapshot



展示会レポート

グラビア印刷・軟包装業界における新たなビジネス機会

報告者：全国グラビア協同組合連合会事務局 戸部初雄

2026年6月2日（火）～5日（金）、東京ビッグサイト・東西ホールにて、（一社）日本食品機械工業会主催の食品製造総合展示会「FOOMA JAPAN2026」が開催されました。

食品業界は、グラビア印刷・軟包装業界にとって最大級の市場です。食品メーカーでは、商品の品質保持、安全性向上、環境対応、ブランド価値向上を目的として、包装材料やラベル、パッケージデザインへの要求が年々高

度化しています。そのため、包装分野は重要な構成要素となっており、同展には食品メーカーの開発・生産・品質保証・購買部門の担当者が多数来場し、製造設備だけでなく包装資材やパッケージソリューションについても情報収集を行っています。グラビア印刷業界にとっても、食品包装市場の最新動向を把握し、新たな顧客やビジネスパートナーと出会う絶好の機会と感じました。

組合員・単組の近況

関東プラスチック印刷協同組合

62年の活動の歴史に幕、解散セレモニー開催

1964年（昭和39年）の設立以来、グラビア業界で最も長い歴史を歩んできた関東プラスチック印刷協同組合が、今年3月31日（火）をもってその活動に幕を下ろしました。それに伴い、5月22日（金）に東京・上野にある韻松亭に会員企業が集まり、解散セレモニーが行われました。関東プラスチック印刷協同組合創立期のメンバーや当時のグラビア業界を取り巻く環境について、全国グラビア協同組合連合会の田口 薫会長に回想とともに綴っていただきました。

関東プラスチック印刷協同組合の成り立ち

田口 薫

日本にポリエチレンフィルムが現れたのが、昭和29年（1954年）頃です。それまでは防湿包装といえば塩ビでした。といっても5～6年程で可塑剤のフタル酸エステルから発がん性物質が見つかって、食品包装には使わないことになり、ポリエチレンが取って代わりました。アメリカのデュポンの原料でフィルムを作っていましたが、国内の三井、三菱、住友、旭化成等が原油の精製を始め、ポリエチ、ポリプロの原料の国産化が始まり、印刷、ラミ、スリット、製袋などの加工所が続々とできました。国は中小企業振興策として、中小企業組合法などを作って支援しました。

ポリエチよりも先にセロファンが世に出ます。1930年代ですが、アメリカのデュポンが工業化に成功し、日本にも入ってきます。東京セロファン紙が巴川製紙、井上源

之丞氏によって起業し、透明な紙として広まっていきます。氏は凸版印刷の社長を兼ねていましたので、凸版は米セルマー社から長巻セロファンのグラビア印刷法のパテントを買って、印刷機、製版等を社内に揃えます。しかし、3年後に太平洋戦争となり、技術はお蔵入りとなります。セロファンに印刷を施し、美しい包装として売り出したいという要望もあったのでしょうか。活版でこれをスタートしたのが職人上がりの橋本セロファン印刷の初代です。1枚ずつボール紙にセロファンを貼って刷ったら、室内に洗濯ばさみで止めて干す…という状況です。

昭和50年代、ラベル印刷もこんな状態でした。ビニールが出て、食品包装に使われましたが、印刷のニーズがあったので紀州の友禅染の伊勢型紙職人の露峰岩雄氏が

型紙を作り、捺染式でビニールフィルムに品名等を刷ります。衛生問題で塩ビがポリエチレンに代わった時も捺染法は残っていましたが、グラビア製版が日商グラビアの野呂氏、千代田グラビアの佐藤氏、三馬グラビア印刷社の渡辺氏等によってスタートしますので、初期は製版業者がなく自前で版を作っていたようです。他は、省文印刷の長尾氏、成裕印刷の大月氏です。印刷機も岩瀬鉄工がトップを切ってポリエチ用のグラ印を作ります。成裕印刷から提供された古い写真には、こたつから外したニクロム線と扇風機を組み合わせた乾燥装置を持つ機械、モーターはなく足踏みで田んぼに水を送る道具を真似て作り、フィルムは手で送り、手繰^{たぐ}ってかせに巻いていたようです。その頃、中島、東芝、日立がセロファン用グラビアに参入し、佐藤、斉藤、小西、東谷、三鷲、林等のメーカーが競います。元の設計は独のゲーベル、米のセルマー、伊のチェルシーを模したものだっただけです。

当時は凸、大、千代田等と日商グラビアは交流があり、特に日商の野呂大紀氏はグラビア学校を作って、製版、印刷法、印刷機械理論を教育しておりました。揮発性のインキを作り、こたつのニクロム線に風を当てるような構造でしたから、火災が頻発し、工場が全焼することも度々でした。成裕印刷も墨田区で火災にあい、八潮へ移りました。大月氏の次の理事長、三貴の熊倉氏も工場が全焼し、野呂氏や三馬グラビアの渡辺氏の支援を受けて再建したと、熊倉さんのお嬢さんから伺いました。

三馬グラビアの渡辺氏は秀英舎[※]（今の

DNP）のグラビア職人で製版にも印刷にも通じ、人格者でもありましたので、関東プラスチック印刷協組が結成された時、初代理事長に推されました。実際、パワフルに人をまとめたのが2代目の大月氏で、自腹で多くの人に奢ったと言われています。荒っぽい職人も多く、酒の上の喧嘩もあったそうですが、大月・熊倉コンビでまとめた熊倉氏から聞きました。大月氏は58歳で亡くなりますが、3代目理事長の熊倉氏は102歳の長寿を全うされます。パワフルで全グラ会長、軟衛協設立メンバーで常任理事、防火安全会会長、鎌ヶ谷ゴルフクラブキャプテン、エージシュート2回(82)とエピソードもたくさん残されました。熊倉氏の後は多連堂の石井氏、三馬の2代目渡辺氏、成裕の2代目大月正雄氏、そして多連堂2代目石井 純氏と続きます。

私が申し上げたいのは、互助とチャレンジが昔はあったということを思い出していただきたい。泉下に眠る先輩たちの努力を称え、学んでいただきたい。そんな感性豊かな業界人でありたいと願っています。

※秀英舎：1876年に創業された日本の印刷会社。勝海舟が命名し、後に日新印刷と合併して現在の大日本印刷（DNP）の前身となった。日本の近代印刷・出版の草分け的存在

（参考）日本にグラビア印刷が入ってきたのは明治の頃、東京高等工芸学校（のちの千葉大学工学部）の伊東亮次先生がグラビアの研究を始め、そのお弟子の辻本秀五郎氏がグラビア技術を学び、辻本式グラビア

輪転機を完成させる。凸版、秀英舎等がこれを設置し、グラビア雑誌の印刷を開始する。紙、版、機械と揃うのはしばらくかかるが、大正 12 年（1923 年）の関東大震災の情報はこの輪転機がフル稼働して震災の惨状の写真が全国に行き渡った。毎日グラフ、アサヒグラフ、国際情報の 3 社が全国に売りまくり大ベストセラーとなる。三馬（トリネックス）の初代渡辺氏は秀英舎でこのグラビア雑誌の製版、印刷に携わり、技術を会得していた。中小のグラビア印刷会社にとって貴重な存在であったのではない。

凸版の井上社長の命でアメリカのセルマーの特許の導入にあったのは牧江宏一氏。戦後、牧江技研を設立し、グラビア

技術の研究と印刷の外注をビジネスにするが倒産した。インキメーカーは借金のかたにシリンダーを引き揚げたので、ユーザーはこのインキメーカーから有料で版を借りて別の印刷会社に印刷させた。当時の出来立ての日本パッケージも借りた版で印刷したと思われる。その頃は研究者肌の人が多く、例えば牧江氏、野呂氏である。そして省文の長尾氏は研究開発に資金をつぎ込み、経営が苦しくなることがあった。露峰岩雄氏は松戸市に東洋彫刻を設立し、広幅フィルム印刷とグループ会社ポリチューブの光グラビア、スリッター会社を次々と展開したが、5 年程で廃業した。朋和産業、信和産業の創業者、村野友信氏も東洋彫刻で修業されている。

Information

グラビア研究会、7 月 22 日に 第 12 回グラビア基礎講座をオンライン開催

（一社）日本印刷学会技術委員会グラビア印刷技術研究会は、2026 年 7 月 22 日（水）午後 1 時 30 分～5 時まで、「第 12 回グラビア基礎講座ーグラビア印刷、基礎からトラブル対処までー」を Zoom にて開催する。プログラム、申込先などは次の通り。

<プログラム>

①グラビア印刷時のフィルムの取り扱いに関する留意点

講師：ユニチカ(株) 大葛貴良氏

②グラビア印刷機の基礎

講師：富士機械工業(株) 西村高博氏

③グラビア製版の基礎

講師：東洋 FPP (株) 松崎徳治氏

④グラビアインキの基礎、印刷時のトラブルシューティング

講師：サカタインクス(株) 加藤純章氏

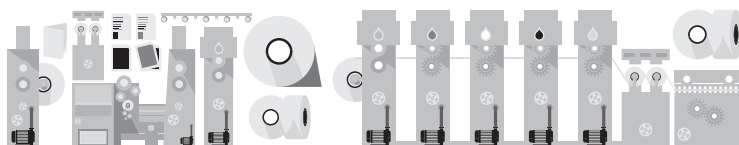
⑤ラミネート加工の基礎、トラブルシューティング

東洋モートン(株) 武本 昇氏

定員は 200 名（先着順）。参加費は正会員・協賛団体員 5,000 円（協賛団体：関東グラビア協同組合、全国グラビア製版工業会連合会）、非会員 7,000 円、学生・教職員 1,000 円（視聴者 1 名あたりの費用。複数名が同一 PC 等から参加する場合も、申込者とメールアドレスを同じにして聴講の人数分申し込む）。

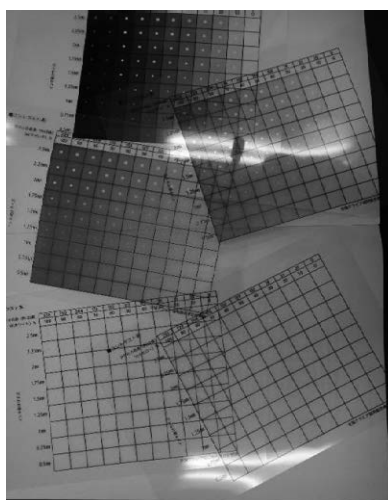
<申込先> 日本印刷学会 HP

<https://www.jspst.org/generateApplicationForm.cgi>



品質判定ガイドラインについて

グラビア印刷では、消費者の安全と安心のため、常に高い品質が求められます。しかし、過剰な品質の追求は、製造コストや環境負荷に影響を与えてしまう側面もあります。全国グラビア協同組合連合会では、そのバランスをとるために、会員有志の協力を仰ぎながら「品質判定ガイドライン」を制定いたしました。本誌が業界の品質判定の一助となることを願っております。



目 次

品質判定ガイドライン発刊にあたり.....	1
はじめに.....	2
1. 軟包装パッケージの品質基準と業界の現状.....	5
1-1. 背景・目的.....	5
1-2. フィルム起因のインキ抜け.....	8
2. 軟包装業界の品質判定基準.....	13
2-1. フィルムメーカーの実力値.....	13
2-2. 欠点検査機の運用上の精度限界について.....	14
2-3. 絵柄を考慮した品質判定定義.....	17
3. ガイドラインの運用方法.....	23
4. 補足資料.....	26
4-1. フィルム製造工程分類別不良一覧 (例：Tダイニ軸延伸製造工程図).....	27
4-2. フィルムの不良名称、及び発生メカニズム.....	29
4-3. インキ抜け実例集.....	31
4-4. 製造工程図(例).....	38
4-5. グラビア印刷の原理.....	39
4-6. グラビア印刷加工における不良名称定義.....	40
4-7. フィルムサンプルによる不良見本.....	44
4-8. 欠点検査機の原理.....	46

内容サンプル

また、インキ抜けの大きさ、発生した色の濃度による欠点を見易くする為、下図の様な品質判定基準のベースとなるコントラスト表を用いて検討しました。

<コントラスト表>

- ▶大きさ : [0.5mm] [0.75mm] ~ [2.0mm] [2.25mm] の「C」状のインキ抜け。
- ▶色 : 「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「スミ」の4色。
- ▶濃度(%) : [0] [20] [40] [60] [80] [100] の6段階。

【コントラスト表例(スミ)】

■インキ抜け 品質判定基準
ヌゲ色が完全にヌケたものとし、白●で表現

K(スミ)%	100	80	60	40	20	0
2.25mm	●	●	●	●	●	●
2mm	●	●	●	●	●	●
1.75mm	●	●	●	●	●	●
1.5mm	●	●	●	●	●	●
1.25mm	●	●	●	●	●	●
1mm	●	●	●	●	●	●
0.75mm	●	●	●	●	●	●
0.5mm	●	●	●	●	●	●

このコントラスト表を用いる事で、これまで数値で表現していたインキ抜けが、視覚的に認識し易くなります。また、「キ」等の影濃色では、同じ大きさのインキ抜けで有っても、その他の色程は目で認識出来ない事も判るとれます。

冊子販売内容

冊子名	『品質判定ガイドライン～軟包装(インキ抜け)～』 A4判カラー印刷、本文 54 ページ 綴じ込み：軟包装インキ抜けサンプル 3 枚 (OPP40μm にデジタル印刷後、ニス加工) 付録：CMYK+W の各インキ抜け品質判定シート (PET100μm にデジタル印刷後、両面 PP ラミ)
定価 (送料別途)	全国グラビア協同組合連合会 傘下組合員 3,300 円 (本体価格 3,000 円 + 消費税) その他、一般..... 5,500 円 (本体価格 5,000 円 + 消費税)
決済方法	購入申込 → 代金の入金確認 → 発送
振込み先	みずほ銀行 本所支店 (050) 普通預金 口座番号 1474749 全国グラビア協同組合連合会
問い合わせ先	全国グラビア協同組合連合会 事務局 TEL.03-3623-4046

送信先 FAX.03-3622-1814

全国グラビア協同組合連合会 事務局 御中

『品質判定ガイドライン～軟包装(インキ抜け)～』購入申込書

年 月 日

申込数・金額	部 × 1 部定価	円 = 合計	円
※要発送の場合は別途料金がかかります			
会社名・部署		請求書発行 要 ・ 不要	
送付先 〒			
住 所			
担当者		TEL FAX	

酒は永遠の友

vol.18

田口 薫

今は歴史ブームで、NHK は BS を含めて歴史番組が多い。主に城について多くの論議がある。しかし、どんなものを食べていたか、酒はどうだったかについても知りたい。江戸時代はなんでも相撲番付のように横綱、大関と分けしてある。蕎麦、鰻、料理屋、これはフランスのミシュランより 100 年早いのではないか。

今もわずかに残っている。「八百善」である。幕末のペリーの歓迎宴の料理を江戸橋の「百川」と協力して出したが、百川は明治になって姿を消した。なんでも幕府がなくなり、長年のツケが不払いになったり、常連の旗本らが失業して客がいなくなったとされている。百川は落語「百川」に当時の様子がいきいきと描かれている。一方、山谷に店がある八百善は文人墨客との交流が深く、享保年間に創業し、大田蜀山人、谷文晁、葛飾北斎、酒井抱一が「江戸流行料理通」という料理本に挿画を描いて評判となった。これが諸国に伝わり、日本の料理レベルを大いに押し上げた。

元の店は震災、戦火で灰になったが、銀座、両国の博物館内、鎌倉と移り、11 代目栗山善四郎が継承している。



八百善を食したことはないが、戦前までは江戸（東京）の料理は大変甘かった。1951 年に飛騨から東京に引っ越して、芝あたりで包丁を執っていたお年寄りが家の向かいに住まわれた。たまに煮物等を作ってくださったが、子供ながらとにかく甘いと思った。砂糖は昔は貴重で、江戸にはふんだんにあったから、田舎者は砂糖が入っている＝贅沢＝美味となったのではないか。

今、東京・日本橋の「嶋村」等は月 1 回江戸料理の会を催しているので、昔の味に出会えるかもしれないが、甘いのはあまりいただけない。落語「王子の狐」に登場する名主の滝のそばの「扇屋」は、昭和 40 年代までは庭のある昔ながらの料亭をやっていた。2 度ほど行ったが、甘鯛の西京焼きといった関西料理になっていた。名物は狐を騙すために用いた卵焼きで、今も売店や池袋の西武に売っている。厚くて甘い。

しかし、江戸時代そのままと思われるもっと甘い卵焼きがある。吉原大門前にある“蹴飛ばし屋”（馬肉料理屋）の「土手あつみや」だ。桜鍋の「中江」の方が有名だが、卵焼きは茶釜を使って作るらしく、丸くてクリスマスケーキのスポンジのようでボリューム満点だ。砂糖の量が多いからか少し焦げ目がついている。



全グラの元会長で、橋本龍太郎を総理大臣にする会の会長でご存知、川田善朗さんは怒るとすぐ“出入禁止”（出禁）を申し渡す。また、朝6時半に長々と文句を書き連ねた墨の太文字のFAXで有名で、これには何人も悩まされた。私もよく衝突したが、さすがの大人物、向こうから歩み寄り銀座で美味しいものをご馳走になり、ついでに行きつけの若い子のいる店に連れていかれた。私はその手の女性と話をするのは苦手だが、銀座の猛者は器用にお遊びになる。

いつもご馳走になっては悪いので、私の知っている東京・湯島の「いづ政」にお連れした。ここは銀座の名店「出井」の出身で、腕は確かだ。店の隅でカラスミやカレイ、甘鯛等の一夜干しを作って出す。これが絶品で魚は刺身にするより、水分を飛ばした干物を丁寧に焼き、「いり酒」を振った大皿に入れてもらって食べると別物のように美味しい。川田さんにお勧めしたが、あまりお喜びではない。それより「卵焼きを作れ」とおっしゃる。いづ政の主人も困惑し、「私は作ったことはありません」と断るが、駄々っ子のように「卵焼きが食べたい」とおっしゃる。熱意に負けて卵焼きを出したら、ニッコリされた。その後、出禁にあった某インキメーカーの方にあつみやの卵焼きをお勧めしたら、効果絶大。出禁が一発で解けた。



饅頭を山ほど持っていったご機嫌を取る輩もあった。強面ではあったが、内心やさしく、思いやり深い方で、晩年は後進育成のために川田塾を帝国ホテルの（慶應）三田倶楽部内で開いておられた。慶應OB会役員、評議員も続けられ、ご自分の出版記念パーティは現、前、元の慶應の塾長が駆け付け、橋本総理や有名人も参加した豪華なパーティとなった。川田さんのエピソードは数限りなくあるが、環境大臣に会うときは、池田大作事務所に電話してアポを取って、自民党以外でも自由に振り回せる政治力に驚いた。川田塾のOBたちは命日に東京・駒込の吉祥寺の墓所に集まり、故人を偲んで食事をする習わしになっている。エピソードにあふれた川田さんのことはまた別の機会に書くこともあるだろう。